

第4回 杉並区医療介護連携研究会 報告書

日時 : 2013年2月1日 19:15~21:00

会場 : 杉並区医師会館 3階

司会 : 杉並区歯科医師会 飯島歯科医院 院長 飯島裕之先生

プログラム

19:20~ パネルディスカッション

『病院から在宅へ～在宅ターミナルケア・看取りについて』

座長: 杉並区医師会 近藤医院 院長 近藤邦夫 先生

甲田医院 院長 甲田潔 先生

パネリスト: 在宅医・・・おぎくぼ正クリニック 阿部正 先生

MSW・・・河北総合病院 小竿顕子 先生

薬剤師・・・東京都薬剤師会 大木一正 先生

訪問看護師・・・河北総合病院 矢尾知恵子 先生

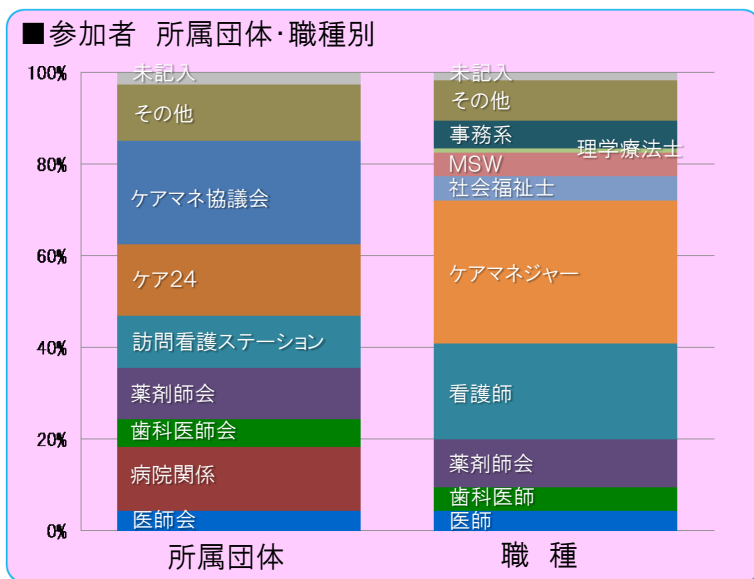
ケアマネジャー・・・ジャパンケア南阿佐ヶ谷 本郷公子先生

杉並区役所・・・高齢者在宅支援課 宮城敦 先生

21:00~ 『情報交換会』



研究会参加者: 151名(内情報交換会参加者: 56名) アンケート回収: 115枚(回収率76.1%)

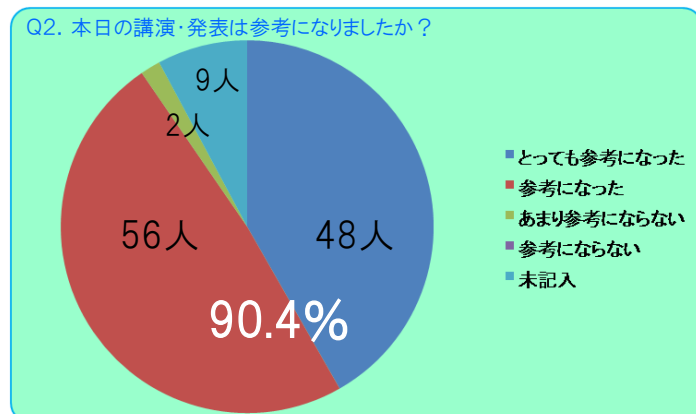
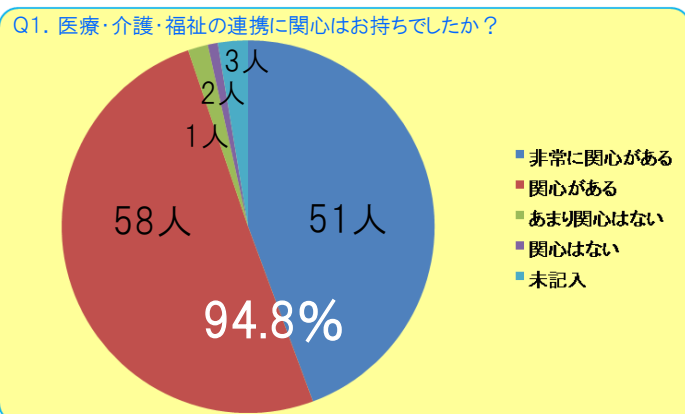


所属団体

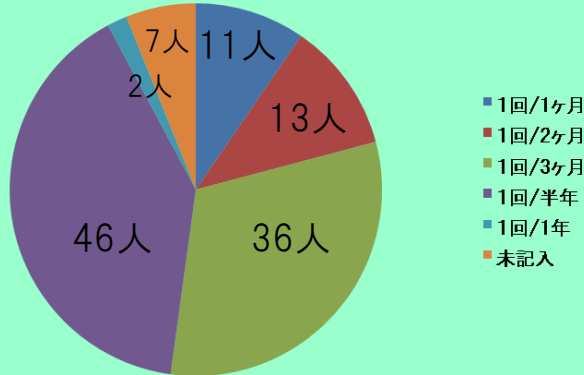
- ・医師会・・・5名(4.3%)
- ・病院関係・・・16名(13.9%)
- ・歯科医師会・・・7名(6.1%)
- ・薬剤師会・・・13名(11.3%)
- ・訪問看護ST・・・13名(11.3%)
- ・ケア24・・・18名(15.7%)
- ・ケアマネ協議会・・・26名(22.6%)

職種

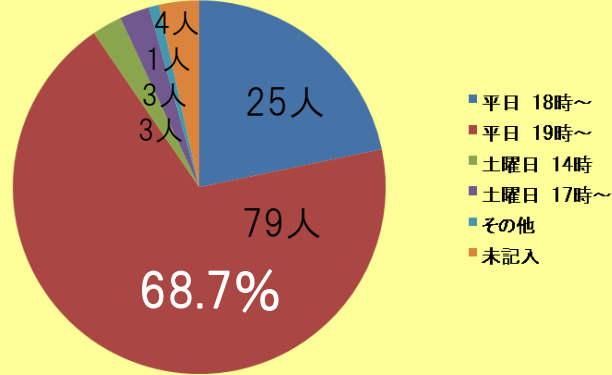
- ・医師・・・5名(4.3%)
- ・歯科医師・・・6名(5.2%)
- ・薬剤師・・・12名(10.4%)
- ・看護師・・・24名(20.9%)
- ・ケアマネジャー・・・36名(31.3%)
- ・社会福祉士・・・6名(5.2%)
- ・MSW・・・6名(5.2%)
- ・理学療法士・・・1名(0.9%)
- ・事務系・・・7名(6.1%)



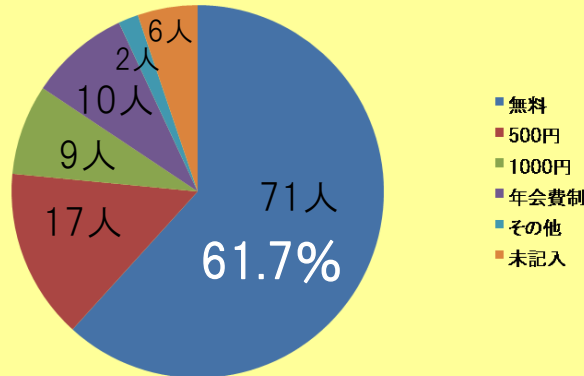
Q3. 開催頻度について



Q4. 開催時間について



Q5. 会費制の有無について



今回も幅広い職種の方のご参加を賜り、ありがとうございました。

パネルディスカッション形式について、多くの方に参考になったと回答を頂きました。

次回については、3～6か月に1度の開催を望む声が多いので参考にさせていただきます。

Q7. ご意見ご要望について Part. I

【医師会／医師】 No.1

・各職種それぞれに考えがわかって良かった。

【歯科医師会／歯科医師】 No.1

・多職種の方の集まり、在宅のお話を聞く事は初めてでした。とても良かったです。

【歯科医師会／歯科衛生士】 No.1

・多職種の方の活発の意見を聞く事が出来てとても参考になりました。

【歯科医師会／歯科衛生士】 No.2

・皆様の様々な具体的なケースをなんて興味深かったです、最後の質問や意見をおっしゃる機会には、その方の職種が知れたかった。

【薬剤師会／薬剤師】 No.1

・始めて参加させていただきました。私は在宅に関して全く着手していないので、今回皆様のお話を聞いておりました非常に参考になったと同時に今更入り込めるのでしょうか？という不安も抱えております。

【薬剤師会／薬剤師】 No.2

・薬剤師には、病院薬剤部のように医薬品のみならず、終末医療に必要な医療器材を24時間体制で供給する体制設備を期待されもったもんだと思った。杉並区内に一ヶ所でも出来れば良いと考えます。「上手に行かないケース」チーム医療のチームに対する患者家族の信頼の確立が大切と思いました。にわか作りのチームで信頼が得られるのか心配しています。

【薬剤師会／薬剤師】 No.3

・会費500円程にして年1回特別講演をしていただいで、他の地区の情報もあった方が良いと思います。

【病院関係／看護師】 No.1

・在宅に係るチーム医療について伺えてとても参考になりました。

・ホスピス看護師ですが今後なるべく在宅へ移行したいと考えており地域の皆様にお世話になりたいと是非連携させていただきたいと考えております。又参加させて頂きたいと思いました。

【病院関係／看護師】 No.2

・医療と介護看取りの話を多職種で話し合う事が出来ることは本当に素晴らしいと思いました。病院・診療所・訪問介護・ケアマネ・薬剤師・ヘルパーみんなでこれから一人一人を支えるために、共に考え支援していけたらいいと思います。

【病院関係／看護師】 No.3

・ターミナル(急性期Hp) ⇒ 在宅にむけて色々な制限があるので期限内に本人・Faの意思決定を確認していくのは今の体制では多くの問題を解決しなくてはならないと感じました。急性期である程度の治療が終了したら在宅までのワンクッションの施設が(希望ではありますが！)良いと考えます。リハビリテーションHp等が法的な制限を受けずに在宅でのゲートキーパーになればと思いました。在宅でのターミナル(看取り)の実例を聞けてとても参考になりました。

薬剤師の中にも在宅で頑張っている方がいる事にとっても感動しました。医療と介護の連携を深めるため情報共有が不可欠だと思います。

HER(電子健康記録)のようなシステムは、杉並区では無理でしょうか？

【病院関係／看護師】 No.4

・杉並区としての研究会なので、杉並区の中での在宅でのターミナルケアの現状を踏まえた内容が欲しかった、各職種間での悩みはすでに色々な場面も聞いている事なので「杉並区の現状として」という方が面白い。杉並区内での在宅ターミナルはどれ位受け入れられているのか、まだ受け入れるキャパはあるのか受け入れられない理由は(例えば本日のディスカッション内容)等で知れたかった。

【病院関係／看護師】 No.5

・それぞれの職種の方に話をしていただくのはとても良い事だとは思いますが5分/1人では短すぎる。

早口で資料・パワーポイントも入っては内容を把握するのも大変だった。準備段取りをもう少し丁寧にした方が良かった。

【病院関係/MSW】 No.1

・在宅で見えるのにはFaのサポート体制が重要、そこをエンパワメントしていく視点は今回の発表ではそれなりに感じる事が出来良かったです。

【訪問看護ステーション/看護師】 No.1

- ・一つのテーマをめぐり、各職種からの話がありとても有意義でした。
- ・今後も他のテーマに基き、このような会の開催を望みます。
- ・河北の八尾さんのお話はとてもわかりやすく勉強になりました。もっと色々とお話を伺いたいと思いました。

【訪問看護ステーション/看護師】 No.2

・パネルディスカッション討論会方式も良かったです。

【訪問看護ステーション/看護師】 No.3

・それぞれの職種の立場からの現状が理解出来ました。私達看護師が利用者さん及びご家族との関わりの中での様々な問題が多くありますが、他職種の連携が改めて必要だと思えます。在宅での看とりは関わる者としてとても難しいことがあります。医師とNsとの連携はとても大切なので今後もさらに連携を深めていきたいと思えます。

【ケア24/社会福祉士】 No.1

- ・パネルディスカッションの多くが、プレゼン+αでのQ&Aで終わる事が多い。
- ・本日は、色んな職種の現場の考えが聞けてよかった。やはりプレゼンのみでなくディスカッションできる時間が次の関係とりに繋がると思う。

【ケア24/ケアマネージャー】 No.1

・パネリスト・座長とても勉強になりました。

【ケア24/ケアマネージャー】 No.2

・多くの方の参加と熱意が伝わり、とても良い会だったと思えます。

【ケア24/看護師】 No.1

・看取りについては、入院生の病院のMSWから一報が入り関わるケースが多いです。ただ病院によってこちらが知りたい情報が充分になかったり退院して家に帰ってから介護保険の申請をしにくるなど入院中に出来る事をしてなかったりと様々です。

【ケアマネ協議会/ケアマネージャー】 No.1

- ・区内にこれだけの連携が、形となって進んで来た事をうれしく思います。
- ・今後何回かは本日のようにテーマを決めて各会の方にご講演いただき、区内での在宅の事例について各視点から検討できるという内容がケアマネとしてはありがたいと思えます。
- ・ターミナルケアについては、それぞれ課題が出されていたかと思えますが本日の話からのまとめを研究会としていただいていずれかの時期に再度ターミナルケアがどこまで進んだかという検証の機会がもてると良いと思えました。
- ・それぞれ日常の業務がある中で準備だけでも大変だとは思いますが、これからどうぞ継続して頂きたいと思えます。

【ケアマネ協議会/ケアマネージャー】 No.2

・ターミナルケアについて様々な職種からの意見が、取り組みなどが聞けて参考になりました。

【ケアマネ協議会/ケアマネージャー】 No.3

・今後のテーマ「認知症の方の支援について」(特に独居の方)希望します。

【ケアマネ協議会/ケアマネージャー】 No.4

・在宅で見取ると決めた時に、どの様なサービスを入れたら良いかとか悩む突然に体調をくずした時など予測をどの様に立てたら良いのか？医療の訪問看護師の方との連携は大事だと思う。家族の気持ちをどう支えるのか？「悩む」事にとことん付き合う事も大切かと思えました。

【ケアマネ協議会/ケアマネージャー】 No.5

・それぞれの職種による考え方が良くわかり問題点などが見えやすかった。今後の連携の取り方が課題。

【ケアマネ協議会/ケアマネージャー】 No.6

・薬剤師さんとの関わりが少ないため薬剤師の活動がよく理解出来ていなかった。今日はその点が理解出来たので良かった。

【行政/保健師】 No.1

・他職種の方々が集まって討議するという場をこれからも継続してゆくことが、このケースのスムーズな連携に繋がると思えます。

【行政/事務系】 No.1

・貴重な実例を聞かせていただき大変勉強になりました。パネルディスカッションという形式はそれぞれの役割立場のお話が聞けて良かったと思えます。

【その他/ヘルパー】 No.1

・ヘルパーやデイサービスなど、介護保険サービス事業者との連携をどうやって取るべきかを学んで行きたいと思えました。とても勉強になる研修と企画いただきありがとうございました。

【総評】杉並区医療介護連携研究会 代表世話人:杉並区医師会 甲田 潔

「顔の見える関係作り」を目的に始まった当研究会も第4回を数え、今回は150名を超える皆様に参加していただきました。

アンケートにお寄せいただいたご意見・ご希望に耳を傾けて今後の会の開催に役立てていきたいと思えますが、この会は参加される方々全員で作成り上げ、さらにこの会を発展させて行きたいと思えます。皆様のご協力をお願いいたします。

ご協力ありがとうございました。